

記載例 F

事件番号 奈労委〇〇年（不）第〇号
 事件名 〇〇〇〇不当労働行為救済申立事件

年 月 日

奈良県労働委員会 会長 殿

申出人 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号
 〇〇労働組合
 執行委員長 〇〇〇〇

証人・当事者尋問申出書

本件について、下記のとおり証人・当事者の尋問を申出します。
 併せて、別添のとおり尋問事項書を提出します。

記

証人・当事者		証明すべき事実	所要見込時間
(ふりがな) 氏名	(〇〇〇〇 〇〇〇) 〇 〇 〇	<ul style="list-style-type: none"> 組合結成に対する被申立人会社からの非難 申立人代表者の職場での勤務状態 	40分
年齢(生年月日)	〇〇歳(S〇.〇.〇)		20分
職業	申立人組合執行委員長		
住所	〇〇市〇〇町〇-〇		
電話番号	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇		
(ふりがな) 氏名	(〇〇〇〇 〇〇〇) 〇 〇 〇	<ul style="list-style-type: none"> 団交申入時の被申立人の応答内容 組合脱退の勧奨について 	40分
年齢(生年月日)	〇〇歳(H〇.〇.〇)		20分
職業	申立人組合書記長		
住所	〇〇市〇〇町〇-〇		
電話番号	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇		

(注)

- 「職業」欄には、職務上の地位、組合における役職名その他を具体的に記載すること。
- この「証人・当事者尋問申出書」（尋問事項書を含む）は、正本1通のみ作成し、労働委員会事務局に提出してください。

(別 添)

尋 問 事 項 書

【記載例 1】

証人・当事者 氏名	尋 問 事 項
○ ○ ○	1. 本件申立てに至るまでの経緯について 2. 組合員への自宅待機命令について 3. 組合員への解雇通知について 4. 組合の組合活動の内容と開始時期について 5. 組合員への面談状況について
○ ○ ○	1. ○年○月○日の団体交渉申入れ状況について 2. 上記申入れに対する会社からの回答について 3. 社長による組合嫌悪発言について

【記載例 2】

証人・当事者 氏名	尋 問 事 項
○ ○ ○	1. 申立人代表者は、○○労働組合の執行委員長か。 上記組合結成の発起人か。 2. 申立人代表者は、被申立人会社社長から、組合結成について非難されたことがあるか。(有無、内容など) 3. 申立人代表者の職場における勤務状態は、同僚などに比べてどうであったか。
○ ○ ○	1. 証人は、○○労働組合の書記長か。 2. 証人は、申立人組合から○○に関する団体交渉の申入れを書面をもって被申立人会社へ行ったことがあるか。(有無、回数、被申立人会社の応答内容など) 3. 証人は、被申立人会社○○総務部長から、組合を脱退するよう勧奨されたことがあるか。(有無、回数、具体的内容など) 4. ○○執行委員長も勧奨を受けたのであれば、その後どのような行動をとったか。

(注)

- ・ 「尋問事項」欄は、箇条書きにより、できる限り個別具体的に記載すること。
- ・ 記載例はあくまでも一例であり、事案によって内容は異なります。